

## 7 友だちにほめ言葉をプレゼントしよう

実践事例 —— 友だちのよいところを見つけ、ほめ言葉として表現する

### 指導計画

友だちにほめ言葉をプレゼントすることで相手を思う気持ちを、また、相手の言葉を気持ちよく受けとめることで自分への自信を育む。

めあて

- 友だちのよいところを見つけ、それをほめ言葉にして手紙にして表現する。
- 友だちからほめ言葉の手紙を気持ちよく素直に受け取る体験をする。

指導のプロセス

- 1 グループワークのねらいを伝える。  
教室の配置は、椅子のみで授業のときの配置でよい。2人組を作りやすいように配置しておくのもよい。
- 2 ワークシートへ記入する。  
2人組を作る。  
ワークシートを配布し、記入する。
- 3 ほめ言葉をプレゼントする。
  - ① 特別に作った袋にワークシート(手紙)を入れておく。
  - ② 最初に、2人組の一方がほめ言葉のワークシートをプレゼントする。もう一方は、ほめ言葉を受け取る側に回る。気持ちよく受け取ることを心がける。2人間のやりとりをていねいに行う。
  - ③ 役割を交代して、プレゼントを行う。
  - ④ ほめ言葉もらった時の自分の気持ちを素直に伝えることを心がける。
- 4 グループワークのふりかえりをする。  
ワークシートを配布し、記入させる。  
ワークの感想を発表し合う。よい感想について積極的にほめる。

まとめ

- 友だちに対して自分が本当に感じていることをほめ言葉で言うことで、友だちの一人ひとりのよさを見つめ、認め合っていくことができるようになる。
- 人を思い通りに操るようなほめ方(ごますり)などとの違いを知り、友だちとの関係を大切にしていこうと心がけていく。



友だちのよいところを見つけ、ほめることができるということは、みなさん一人ひとりがそれをキャッチする素敵なアンテナを持っているということです。アンテナをはりめぐらせ、友だちのよいところを見つけてみましょう。

## 授業の流れ

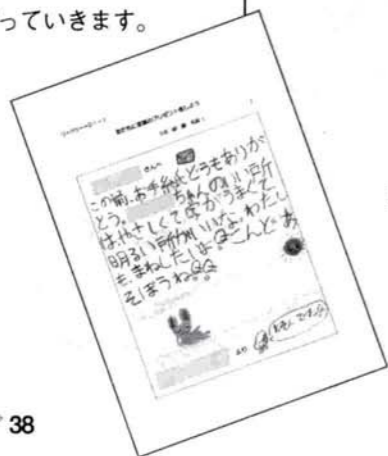
### 友だちのよいところを見つけよう

先生から授業のねらいが説明されました。子どもたちは7月に「ありがとうカード」という授業で、友だちのよいところを見つけてカードに書いて渡すという体験をしています。今回は手紙で友だちのよいところを表現します。

「友だちのよいところを見つける」  
「手紙に書いて渡す」  
「気持ちよく手紙を受け取る」  
ということをやってみたいと思います。

### 手紙を書こう

2人一組を作り、手紙を書く相手を決めました。子どもたちは手紙をあげる友だちのふだんの様子や人柄、得意なことなどを一生懸命に思い浮かべます。言葉やイラストを使って、さまざまな表現で個性的な手紙ができ上がっていきます。



どんなところが「やさしい」のかを書いてあげられるといいですね。

今日は「友だちにほめ言葉をプレゼントしよう」という勉強をします。

手紙をもらったら  
うれしい気持ちを  
伝えてください

もらった人が  
うれしくなるような手紙を、  
工夫して書いてみましょう。

〇〇さんのいいところは  
やさしいところかな…



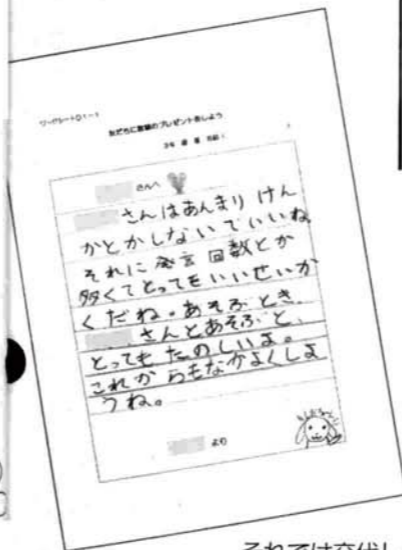
ほめ言葉をプレゼントされた人は、その言葉を気持ちよく受けとめてみましょう。ほめてくれた相手の思いをきちんと受けとめることは、相手を大切にすることにつながるからです。

### 手紙を渡そう

それでは向かい合ってすわってください。一人ずつ交代で手紙を渡します。

とても  
うれしいです

手紙をもらった人は、  
読んでどんな気持ちか、  
自分の気持ちを  
相手に伝えてあげてください。



それでは交代します。  
今度はもう一方の人が  
手紙を渡してあげてください。

ほめ言葉のプレゼントを通して、子どもたちは自分と相手を大切にすることを体験しました。授業を終えて、子どもたちから次のような感想が聞かれました。

- たくさんいいことを書いてもらってうれしかった。
- とてもうれしくて涙がでそうでした。
- いろいろ伝えたいことを手紙に書いてよかった。

あらかじめ各自が作っておいた封筒に手紙を入れ、最初に一方の子どもがもう一方の子どもに渡します。もらった子どもは手紙を読み、読んだ感想を相手に伝えます。子どもたちはとてもうれしそうです。

